

## チュートリアル課題 気のせいではない

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-06-24 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.20780/00032233">https://doi.org/10.20780/00032233</a>

2013年度          Block. 5

課 題          No.5

課題名：気のせいではない

課題作成者：皮膚科学  
皮膚科学

福屋泰子  
石黒直子



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

シート1

松本さんは70歳の男性です。1ヶ月前から家族に「最近顔が赤いね」と言われるようになりました。2週間前からは体や手足がかゆくなり、皮膚が赤くなっています。

シート2

近医で湿疹と言われ外用療法を行いましたがよくならないため、大学病院の皮膚科を受診しました。

医師「今日はどうされましたか？」

松本「最近体中がかゆいんです。」

—診察後—

医師「最近だるかったり、関節が痛いことはありませんか？」

松本「そう言われてみると、疲れやすくなりました。指の関節が痛いこともあります。」

皮膚以外の症状も聞かれ、松本さんは困惑しました。

医師「見ただけでは診断がつかないので、膝の赤くなっているところから皮膚を取って調べてみましょう。」

松本「皮膚をとると何がわかるのですか？皮膚を取るってどうやってやるんですか？

その検査はしなければならないのですか？」

松本さんは今まで検査らしい検査をしたことがなかったため不安になってしまいました。

シート3

医師「病理検査の結果、液状変性やコロイド小体といわれる変化がみられ、単なる湿疹の所見ではありませんでした。」

松本「えっ本当ですか？この手や膝に出ている赤い発疹は湿疹ではないのですか？」

医師「もう少しいろいろ調べてみなければ断定的なことはいえません。」

松本「他に何を調べるのですか？」

シート4

医師「胃の内視鏡で胃にできものが見つかりました。」

松本「えっ それは癌ですか？」

医師「生検の結果、異常な細胞がみられており、癌の可能性が考えられます。内臓の病気を皮膚が教えてくれたんですね。」

松本「どうしたらいいんでしょうか？」

医師「まずは胃の治療を計画しましょう。その後で場合により皮膚症状に対して飲み薬を使用するかもしれません。」

松本さんは皮膚が赤くなって受診しただけなのに、胃にも病気がみつかって動揺してしまいました。また、常日頃から薬は副作用が怖いのでなるべく飲みたくないと思っていたので、今後の治療のことが不安になってしまいました。

シート5

松本さんは胃病変部発見後速やかに幽門側胃全摘術を受けました。  
病理組織検査の結果、中分化腺癌と診断されました。  
術後、皮膚症状、筋酵素値、関節症状および検査所見は改善傾向にあり、ステロイド治療は行わず経過をみているところです。